## 教科目名 日本語表現法 (Japanese expression)

**学科名・学年** : 全学科 4年 (教育プログラム 第1学年 ◎科目) **単 位 数 な ど** : 必修 1単位 (後期1コマ,授業時間23.25時間)

担 当 教 員 : 相本正吾

## 授業の概要

- ・作文とディスカッションの基礎知識や基礎技術を確認しつつ、実際の文章作成の作業やディスカッションの実践を 通して、日本語を論理的に正確に書く及び話す聞く基礎力応用力や文章を書く楽しみを身につけるようにしたい.
- ・実用的文章の作成や文学的文章の創作も行う.
- ・常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語・評論用語の学習を授業及び定期考査で行い漢字・語句の力を身につけるようにする.

## 達成目標と評価方法

## 大分高専目標(C1), JABEE 目標(f) (g)

- (1) 文章作成やディスカッションの基礎事項や基礎技術を確認し身につける. (プリント・定期考査)
- (2) 決めた時間内・字数内で文章が作成できるようにする. (プリント・提出課題・定期考査)
- (3) 提出課題の課題作文では、採点評価において 50 点中 40 点以上になるようにする. (提出課題)
- (4) 行うディスカッションでは、評価が30点中23点以上になるようにする. (課題の提出も含めた発表)
- (5) 常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・討論用語の力をつける. (プリント・定期考査)

| 回      |  | 授業項目   | 内 容                         | 理解度の自己点検       |
|--------|--|--|-----------------------------|----------------|
|        |  |  |                             |                |
|        |  |  |                             |                |
|        |  |  |                             |                |
|        |  |  |                             |                |
|        |  |  |                             |                |
|        |  |  |                             |                |
|        |  |  |                             |                |
|        |  |  |                             |                |
|        |  |  |                             |                |
|        |  |  |                             |                |
|        |  |  |                             |                |
|        |  |  |                             |                |
|        |  |  |                             | 【理解の度合い】       |
| 1      | 文章作成   | の基礎事項の学習(1)                                  | 文章作成の基礎事項1(文体・表現)を確認する.     |                |
| 2      | 文章の作   | 成(1)   | 基礎事項1の学習を踏まえて文章を作成する.       |                |
| 3      | 文章作成   | の基礎事項の学習(2)                                  | 文章作成の基礎事項2(一文の構成)を確認する.     |                |
| 4      | 文章の作   |  | 基礎事項2の学習を踏まえて文章を作成する.       |                |
| 5      |  | の基礎事項の学習(3)                                  | 文章作成の基礎事項3(全体の構成)を確認する.     |                |
| 6      | 文章の作   |  | 基礎事項3の学習を踏まえて文章を作成する.       |                |
| 7      | 文章の作成(4)   |  | 与えられた題目について文章を作成する.         | ▼=\EA → FW ▼ F |
| 8      | 後期中間   |  |                             | 【試験の点数】 点      |
| 9      | 中間試験の  | D解答と解説                                       | 実用的文章の作成を行う.                |                |
|        |  | )JX (3)                                      | 天市の文字の作成で行う。                | <br>【理解の度合い】   |
| 10     | ディスカヾ  | ッションの基礎事項(1)                                 | ディスカッションの基礎や技術の確認(1).       | 【生件》及口( )      |
| 11     | The second secon | ッションの基礎事項(2)                                 | ディスカッションの基礎や技術の確認(2).       |                |
| 12     |  | ッション(1)                                      | 与えたテーマについて各班で討議し聞く発表と評価を行う. |                |
| 13     | ディスカ   | ッション(2)                                      | 与えたテーマについて各班で討議し聞く発表と評価を行う. |                |
| 14     | ディスカ   | ッション(3) ・まとめ                                 | 与えたテーマについて各班で討議し聞く発表と評価を行う. |                |
| 15     | 後期期末   |  |                             | 【試験の点数】 点      |
|        | 期末試験の  | )解答と解説                                       |                             |                |
| 履修上    | <b>廖上の注意</b> そのつど渡すプリントを A4 版のファイルに綴じて学習を行う.   |  | : A4 版のファイルに綴じて学習を行う.       |                |
| 教      | な 科 書 授業でそのつど渡すプリントをう  |  | ントをテキストとする.                 | 【総合達成度】        |
| 参考     | 図書   | 特になし.  |                             |                |
| 占兴し    | 学上の注意 提出課題の課題作文は授業中,及び,遅くともテキストの提出   |  | 受業中,及び,遅くともテキストの提出までに完成     |                |
| ロチェの注息 |  | させておくこと.                                     |                             |                |
| 関連     | 科目   | 地域日本文学(前期),現代文(3年),卒業研究(5年)                  |                             |                |
|        |  | 達成目標(1) $\sim$ (4)は考査、テキストの提出、ディスカッションで評価する. |                             |                |
| 総合     | 評価 テキストの提出(計4回)とその評価、ディスカッションの評価を課題点と  |  | 【総合評価】 点                    |                |
|        | する. 総合評価=2回の考査の平均点×0.7+ 課題点(30点満点).  |  | - "                         |                |
|        |  | 総合評価が 60 点以上を                                | 合格とする. 対象者に対して再試験は行う.       |                |